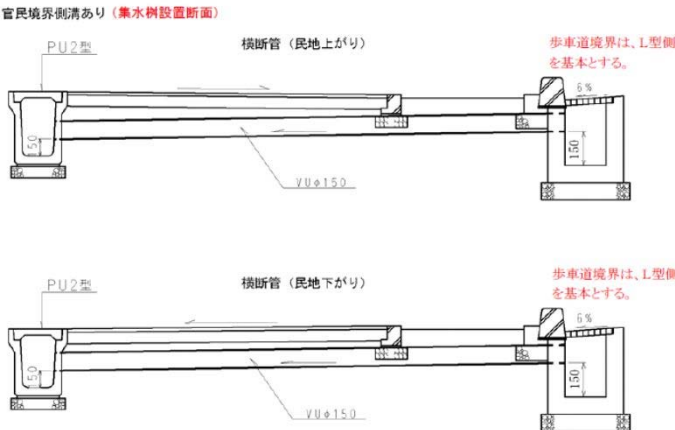
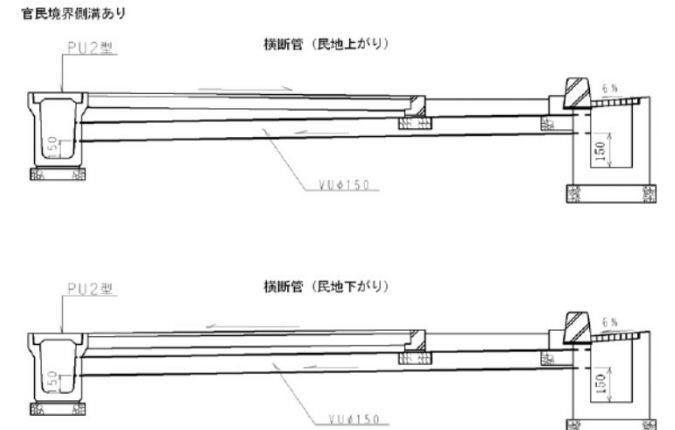
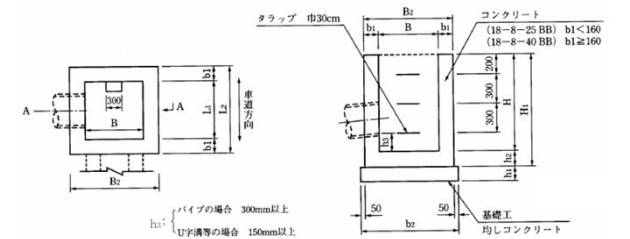
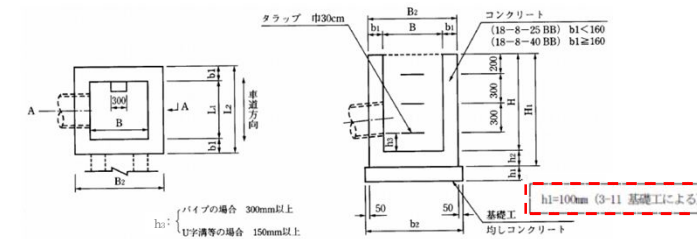


○ 改訂表

(第5編 排水ボックスカルバート)

ページ (通し ページ)	改訂後	改訂前	理由
5-10	<p>セミフラット（マウントアップ）式歩道の場合は、歩車道境界で集水するのが基本とする。<u>やむを得ず、民地からの排水をとる必要がある区間については、歩車道境界をL型側溝とし、官民境界で集水してもよい。</u></p>	<p>セミフラット（マウントアップ）式歩道の場合は、歩車道境界で集水するのが基本とするが、<u>民地からの排水をとる必要がある場合などは官民界側に設けてもよい。</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> 官民境界で集水する場合の条件加筆
5-11	<p>官民境界側溝あり（集水側設置断面）</p> 	<p>官民境界側溝あり</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 官民境界で集水する場合の条件加筆
5-42 5-62			<ul style="list-style-type: none"> 誤記載削除

○ 改訂表

(第5編 排水ボックスカルバート)

ページ (通し ページ)	改訂後	改訂前	理 由
5 - 6 2	5. <u>HまたはH1</u> ≤ 1500mmの場合は <u>h2=150</u> mm、 <u>HまたはH1</u> > 1500mmの場合はh2=200mmとする。	5. <u>BまたはL 1</u> ≤ 1500mmの場合 <u>h 2 =1500</u> mm、 <u>BまたはL 1</u> > 1500mmの場合 h 2 =200mmとする。	・ 誤記載修正 BまたはL 1 → HまたはH1 h2=1500→h2=150

差替用

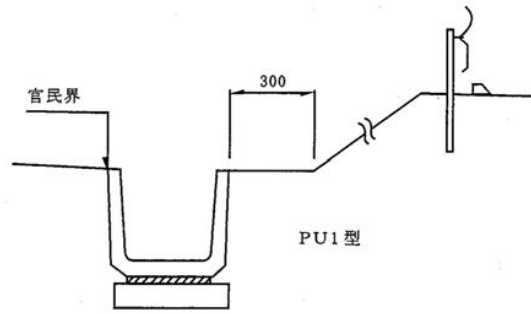
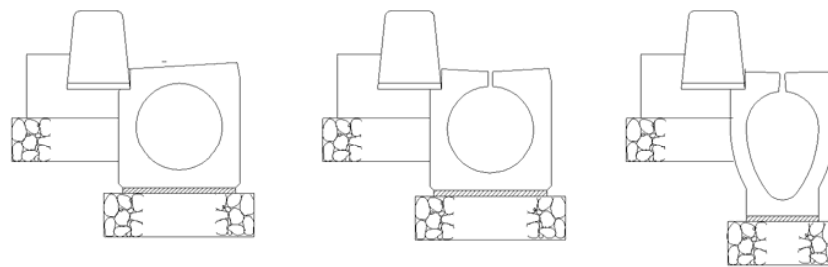


図 3.3 一般部の排水構造

3.5.2 歩道を設置する場合

(1) セミフラット(マウントアップ)式の場合

- ・ セミフラット(マウントアップ)式歩道の場合は、歩車道境界で集水するのが基本とする。やむを得ず、民地からの排水をとる必要がある区間については、歩車道境界をL型側溝とし、官民境界で集水してもよい。
- ・ 歩車道境界に設ける排水施設はプレキャスト円形水路を採用することを基本とする。ただし道路の縦断勾配や流末の位置から排水処理ができない場合や、官民境界に排水施設を設ける場合などは、路線全体の排水系統を勘案して判断するのがよい。
- ・ 道路縦断方向に排水管がある場合は、排水管理者と協議の上これを流末としてもよい。
- ・ 乗り入れが少ないなど歩車道境界ブロックにより歩道が滞水する恐れがある場合は、排水用に5mに1箇所程度穴あきブロックを設けるとよい。
- ・ プレキャスト円形水路、L型側溝の形式については、現場の地形、経済性や施工性等の総合的な観点から比較を行い選定する。



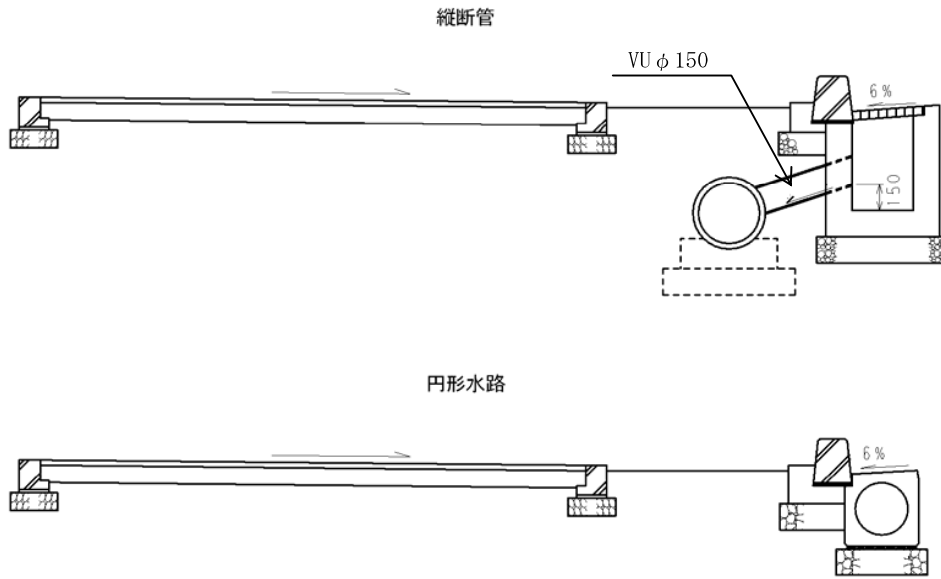
(a) プレキャスト円形水路の例



(b) L型側溝の例

図 3.4 歩車道境界に設ける排水施設の例

官民境界側溝なし



官民境界側溝あり (集水枡設置断面)

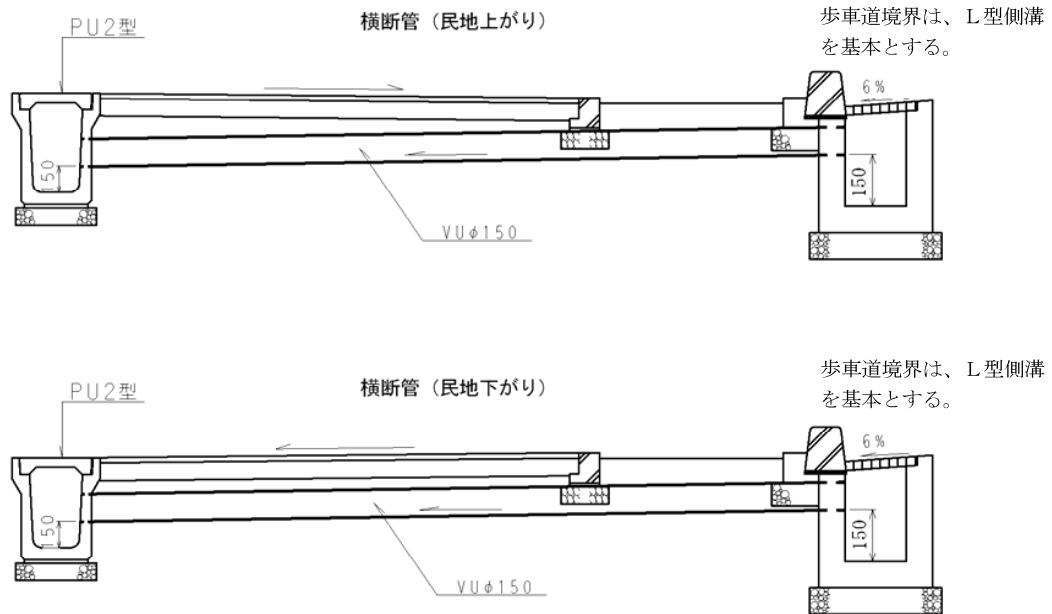


図 3.5 歩道部の排水構造

※プレキャスト製品は、工事標準仕様書を満足するものを使用するものとする

5. 参考資料

5.1 設計図書に明示する名称

(1) 設計図書に明示する名称

設計図書に明示する名称は以下の表の通りとする。

表 5.1 設計図書に明示する名称

名称	記号
プレキャストL型側溝	PL○-B○○○-H○○○
組み合わせL型側溝	PL○-B○○○-H○○○-T○○○
場所打ちL型側溝	L○-B○○○-H○○○
プレキャストU型側溝	PU○-B○○○-H○○○
プレキャストU型側溝蓋	PC○-B○○○
場所打ちU型側溝	U○-B○○○-H○○○
場所打ちU型側溝蓋	C○-B○○○
集水枳	B○○○-L○○○-H○○○
グレーチング蓋 (枳用)	G-B○○○-L○○○ (T-○)
縞鋼板蓋 (枳用)	M-B○○○-L○○○ (t=4.5mm)
管渠 (90°, 180° 基礎)	P○- (○○-○) -D○○○
管渠 (360° 基礎)	P○-D○○○

その他、必要となる名称・記号は、適宜決定して良い。

5.2 数量算出方法

(1) 溝, 管渠

- ・ 単位当たり数量は、10m 当たりで算出する。
- ・ 蓋は、10m 当たりの枚数を計上する。
- ・ 場所打ち側溝蓋の切欠部は、コンクリート量から控除しない。
- ・ 官民境界等による基礎材の控除はしない。
- ・ 岩着部は、基礎材を均しコンクリートとする。

(2) 集水枳の数量算出例

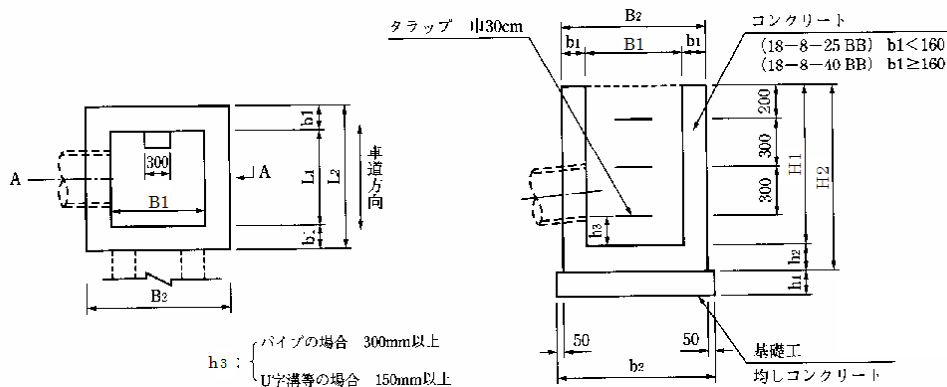


図 5.1 集水枳の構造 (例)

5.6 集水樹寸法表

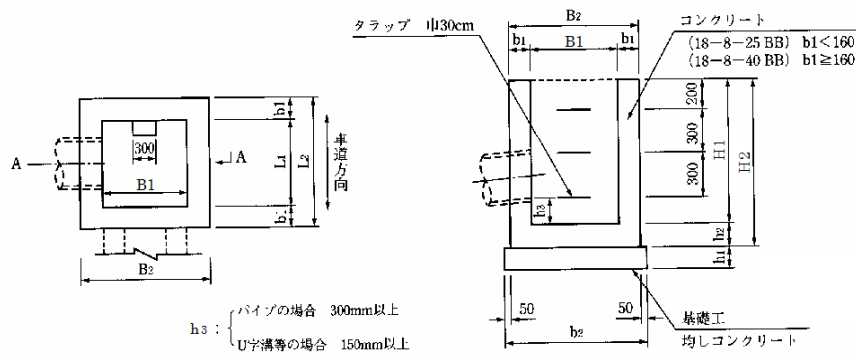


図3-17

表3-7 集水樹：寸法表 (単位:mm)

記号					寸法表		
					H	b 1	b 2
G2-B	500-L	500	-H	700	700	150	900
G2-B	500-L	500	-II	1000	1000	150	900
G2-B	500-L	500	-H	1500	1500	200	1000
G2-B	500-L	500	-H	2000	2000	200	1000
G2-B	600-L	600	-H	800	800	150	1000
G2-B	600-L	600	-H	1000	1000	150	1000
G2-B	600-L	600	-II	1500	1500	200	1100
G2-B	600-L	600	-H	2000	2000	200	1100
G2-B	700-L	700	-II	1000	1000	150	1100
G2-B	700-L	700	-H	1500	1500	200	1200
G2-B	700-L	700	-II	2000	2000	200	1200
G2-B	800-L	800	-H	1000	1000	150	1200
G2-B	800-L	800	-H	1500	1500	200	1300
G2-B	800-L	800	-II	2000	2000	200	1300
G2-B	900-L	900	-H	1200	1200	200	1400
G2-B	900-L	900	-H	1500	1500	200	1400
G2-B	900-L	900	-H	2000	2000	200	1400
G2-B	1000-L	1000	-H	1500	1500	200	1500
G2-B	1000-L	1000	-II	2000	2000	200	1500
G2-B	1100-L	1100	-H	1500	1500	200	1600
G2-B	1100-L	1100	-H	2000	2000	200	1600
G2-B	1200-L	1200	-II	1500	1500	200	1700
G2-B	1200-L	1200	-H	2000	2000	200	1700
G2-B	1300-L	1300	-H	1600	1600	200	1800
G2-B	1300-L	1300	-II	2000	2000	200	1800
G2-B	1400-L	1400	-H	1600	1600	200	1900
G2-B	1400-L	1400	-H	2000	2000	200	1900
G2-B	1500-L	1500	-H	1800	1800	200	2000
G2-B	1500-L	1500	-H	2000	2000	200	2000

- 注) 1. 樹高は現地に合わせて上表を標準とする。
 2. 集水樹内幅は管径(側溝含む) + 200を標準とする(ただし斜角の場合は除く。)
 3. 幅または高さが上表を越える場合は、鉄筋等の検討を行うこと。
 また壁厚は250以上とする。なお、計算はラーメン構造計算、配筋は複鉄筋を標準とする。
 4. b 1 ≥ 160mmの時は、コンクリート18-8-40BBの使用を原則とする。
 5. HまたはH 1 ≤ 1500mmの場合はh 2 = 150mm、HまたはH 1 > 1500mmの場合はh 2 = 200mmとする。